



令和5年度

公益社団法人 日本補綴歯科学会

第4回 専門医研修会

テーマ：歯科材料と技術（ファイバーポストによる支台築造と予後）

抄録集

日時：2023年11月26日（日）10：00～12：00

会場：WEB開催（Zoom Webinar）

主催 公益社団法人 日本補綴歯科学会

理事長 窪木拓男

学会事務局：

〒105-0014 東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4階

TEL：03-6722-6090

運営事務局：株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ

〒950-0983 新潟市中央区神道寺 1丁目 6-14

令和 5 年度
公益社団法人 日本補綴歯科学会
第 4 回専門医研修会

抄録集

目 次

1. 専門医研修会参加の皆様へ	1
2. 専門医研修会タイムテーブル	5
3. 専門医研修会抄録	7

1. 専門医研修会参加の皆様へ

開催概要

開催方式：WEB 開催（ライブ配信＋オンデマンド配信）

日 時：ライブ 2023 年 11 月 26 日（日）10:00～12:00
オンデマンド 2023 年 11 月 28 日（火）～12 月 8 日（金）

（オンデマンドでの視聴は、単位は付与されません。）

単位について

4 単位（本年度中の専門医研修会への参加回数の制限はありませんが、年度内 8 単位を取得上限とします。）

【単位付与条件】

ライブ配信視聴の場合のみ単位付与します。

ライブ配信開始 5 分後以降の入室，終了予定時刻 10 分前以前の退室には単位を付与しません。

アクセスログで単位登録いたしますので，視聴中の通信環境にご留意ください。

後日のオンデマンド配信視聴は，参加費をお支払いいただければ何度でも可能ですが，単位は付与されません。

【日歯研修単位】

日本歯科医師会会員の方は，上記と同じ条件で研修単位を付与しますので，申し込みページに**日歯 IC カード番号（6 桁）**を記入して下さい。

【アンケート】

単位取得に必須ではありませんが，アンケートサイトのアドレスをご案内しますので，ご協力をよろしくお願いいたします。

参加登録

申し込みは、2段階となっております。管理の都合上、お手数をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

参加費（3,000円）のお支払い方法は、1) クレジットカード決済または2) 銀行振込の2通りとなります。

※登録されるメールアドレスについて

キャリアメール（docomo.ne.jp, ezweb.ne.jp, softbank.ne.jp 等）をお使いの場合、自動返信メールが届かない可能性がありますので、極力キャリアメール以外でのご登録をお願いいたします。

【研修会参加申込フォームはこちら】

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/654984cb5ce0140bfeff0dda

（業務委託先の Payvent システム（株式会社 Urbs 運営）に移動します）

<ご案内>

令和5年度は国内企業および他学会の運用実績をもとにセキュリティ対策を講じたシステムを採用いたしました。

プライバシーポリシー

<https://payvent.net/privacy-policy/>

1. 研修会参加申込フォームにて、必要事項をご入力いただき、お支払方法を選択の上、決済画面へお進みください。
2. 参加登録・参加費のお支払いが完了すると、ご登録いただいたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。
3. 銀行振込の方は、登録されたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。そちらのメールに、お振込み口座が記載されていますので、**11月24日(金)正午までにお振込みください。**

お振込先は、本参加登録システム Payvent が利用している決済代行会社が指定する銀行口座（stripe（ストライプ））へのお振込みとなります。

※同じアドレス宛に Zoom の URL をご連絡いたしますので、自動返信メールの受信を必ずご確認ください。

4. 視聴登録用 URL を入力されたメールアドレス宛に 11 月 24 日（金）正午から順次お送りいたします。視聴登録用 URL から「ウェビナー登録」の登録ページを開き、登録時と同じお名前とメールアドレス、補綴歯科学会会員番号をご入力ください。登録後、no-reply@zoom.us から参加用のメールが届きます。

参加・視聴方法

上記の 2 段階目の登録終了後に no-reply@zoom.us から届きましたメールからご参加ください。メール下段の「ウェビナーに参加」を押すか、URL をクリックしてください。当日は 30 分前より入室可能です。

参加する皆様へ

1. 使用ツールおよび登録のお願い

本専門医研修会は Zoom 会議システム（ウェビナー）を利用します。専門医研修会開催までに各自にて事前にお持ちの PC、タブレット、または携帯端末等へ Zoom アプリのインストールおよび事前登録の氏名とメールアドレスの入力をお願いいたします。

※アプリからご視聴の際は 11 月 24 日（金）に配信されるメール記載の ID、パスワードをご入力願います。

2. オンデマンド配信について

1. **視聴用 URL は、運営事務局より 11 月 28 日（火）に参加登録者に一斉に E メールにて送信**されます。
2. なお、フリーメールや携帯キャリアのメールは迷惑メールフォルダへサーバーが自動振り分けする場合がありますので、**受信トレイ以外もご確認**いただきますようお願いいたします。

事務局・お問い合わせ

1 研修会について

公益社団法人日本補綴歯科学会事務局

〒105-0014

東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4 階

TEL : 03-6722-6090

hotetsu-gakkai01@hotmail.com

2 参加登録について

株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内

〒950-0983 新潟市中央区神道寺 1 丁目 6-14

TEL : 025-278-7232 FAX : 025-278-7285 (平日 9 : 00 ~ 17 : 00, 土, 日, 祝日休み.)

E-mail : jps@shinsen-mc.co.jp

2. 専門医研修会タイムテーブル

10:00-10:50

【講演1】 ファイバーポストを使用したレジン支台築造の実際

座長：加来 賢（新潟大学）

演者：坪田 有史（東京支部）

10:50-11:40

【講演2】 ファイバーポストを使用したレジン支台築造の予後と接着

座長：秋葉 奈美（新潟大学）

演者：吉田 圭一（長崎大学）

11:40-12:00

【質疑応答】

3. 専門医研修会抄録

専門医研修会 座長抄録

座長

加来 賢 (関越支部)

新潟大学大学院医歯学総合研究科

秋葉 奈美 (修練医・認定医・専門医制度委員会)

新潟大学大学院医歯学総合研究科

Chairpersons

Masaru KAKU

Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University

Nami AKIBA

Graduate School of Medical and Dental Sciences, Niigata University

支台築造の成否は、補綴物のみならず歯の長期的な維持にも直結する。ファイバーポストによる支台築造は保険収載された影響もあり、本邦における支台築造の第一選択となりつつある。ファイバーポストによる支台築造では複合材料と歯質の間における接着が前提であることから、確実な接着操作が極めて重要である。また、歴史の浅い治療法であることから、その長期的予後を根拠とした臨床的なエビデンスは未だ乏しい。

本研修会では、ファイバーポストによる支台築造について造詣の深い2名の先生にご講演をお願いし、補綴歯科専門医およびこれを目指す歯科医師が習得しておくべき知識と術式について解説していただく。坪田有史先生には、補綴物の脱離と歯根破折を防ぐ支台築造の現状と原則的ガイドラインについて解説いただき、実際の臨床例についてもご紹介いただく。吉田圭一先生には、支台築造後に製作した補綴装置の生存率や歯根破折に関するメタ分析論文についての考察と、材料と歯質の適切な前処理法について解説していただく。

本研修会でファイバーポストによる支台築造についての情報をアップデートし、明日からの診療に役立てていただきたい。

トピックス

- 支台築造
- ファイバーポスト
- 前処理

加来 賢先生



新潟大学大学院医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野

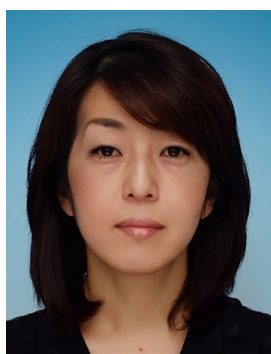
略 歴

- 2000年 東京医科歯科大学 歯学部歯学科 卒業
- 2004年 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科
口腔機能再構築学系 摂食機能保存学専攻 修了
- 2004年 東京医科歯科大学大学院 非常勤講師
University of North Carolina at Chapel Hill,
Dental Research Center,
Postdoctoral Research Fellow
- 2009年 新潟大学医歯学総合病院 助教
- 2010年 新潟大学医歯学総合病院 講師
- 2012年 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 准教授
- 2017年 University of Texas Health Science Center at
Houston,
McGovern Medical School, Adjunct Associate
Professor (~2018)

委員等

- 日本補綴歯科学会 補綴歯科専門医・指導医
- 日本補綴歯科学会 JPR 編集委員会委員

秋葉 奈美先生



新潟大学医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野

略 歴

- 1999年 東北大学歯学部卒業
- 1999年 東北大学歯学部附属病院 研修歯科医
- 2005年 東北大学大学院歯学研究科歯科学専攻 修了
- 2005年 東北大学病院 医員
- 2008年 Postdoctoral Research Fellow, The Burke Medical
Research Institute, Weill Medical College of
Cornell University
- 2010年 新潟大学医歯学総合病院 医員
- 2011年 新潟大学医歯学総合研究科 生体歯科補綴学分野
助教

委員等

- 公益社団法人日本補綴歯科学会修練医・認定医・専門医制度委員会
専門医等
- 日本補綴歯科学会補綴歯科専門医

専門医研修会 講演 1 抄録

ファイバーポストを使用したレジン支台築造の実際

演 者

坪田 有史（東京支部）

坪田デンタルクリニック

Clinical case of resin composite core and fiber post

Yuji TSUBOTA

Tsubota Dental Clinic

支台築造は歯冠補綴装置を装着する歯に対し、生活歯や根管処置歯を問わず、齲蝕や外傷などにより失った歯質欠損を人工材料で補い支台歯とする臨床術式である。支台築造の目的は、ケースに応じた適正な支台歯高径、軸面テーパ角などの支台歯形態を回復することである。その結果、長期間にわたる機能と審美性の回復を目指す補綴装置の土台となり、臨床的意義は高い。

歯冠修復を行った根管処置歯に発生する術後のトラブルの中で、築造体ごとの歯冠修復物や歯冠補綴装置の脱落、二次齲蝕、歯根破折が高頻度であることが報告されている。その原因に支台築造が関与するケースは少なくない。したがって、失活歯に歯冠修復を行う際にそれらのトラブルが発生しないよう対策を講じる必要がある。とくに歯根破折が発生すると、支台歯を保存することが困難なケースの頻度は高くなり、可能な限り回避したいトラブルといえる。

接着が前提のファイバーポストを使用したレジン支台築造（ファイバーポストレジンコア）は、主に歯根破折への対策、ならびに審美性の向上やメタルフリーを目的として活用される。

今回、支台築造の現在の考え方、および臨床における支台築造の原則的ガイドラインを提示し、ファイバーポストレジンコアの臨床例を紹介する。

トピックス

- レジン支台築造
- ファイバーポスト
- 歯根破折

坪田 有史先生



坪田デンタルクリニック

略 歴

- 1989年 鶴見大学歯学部 卒業
- 1994年 鶴見大学大学院歯学研究科 修了
- 1994年 鶴見大学歯学部歯科補綴学第2講座 助手
- 2007年 鶴見大学歯学部歯科補綴学第2講座 助教
- 2011年 鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座 助教
- 2012年 坪田デンタルクリニック
- 2012年 鶴見大学歯学部 臨床教授
- 2013年 鶴見大学歯学部 非常勤講師
- 2017年 東京歯科保険医協会 会長
- 2022年 一般社団法人日本接着歯学会 理事長
- 2023年 日本歯科医学会 理事

専門医等

公益社団法人日本補綴歯科学会 専門医・指導医

専門医研修会 講演2抄録

ファイバーポストを使用したレジン支台築造の予後と接着

演 者

吉田 圭一（九州支部）

長崎大学病院歯科系診療部門保存・補綴歯科冠補綴治療室

Prognosis and bonding of resin composite build-ups used with fiber posts

Keiichi YOSHIDA

Clinic of Fixed Prosthodontics, Nagasaki University Hospital

2016年1月にファイバーポストを使用したレジン支台築造が最初に保険収載された。2018年4月に失活歯の4/5冠や3/4冠の支台築造、2020年4月に前歯部失活歯の充填にファイバーポストの使用が保険適応となった。現在保険適用のファイバーポストは国内外合わせ10製品以上もある。

今回の研修会では、ファイバーポストを使用したレジン支台築造の特性と予後、ファイバーポストやレジンコア装着時のファイバーポストと築造窩洞の前処理法の2点について発表する。

ファイバーポストは弾性率が根管象牙質と近似していることから、鋳造や既製のメタルポストを使用した場合に比較して歯根破折が起りにくいと言われている。そこで、ファイバーポストあるいはメタルポストを使用し支台築造後に製作した補綴装置の生存率や成功率、歯根破折などに関するメタ分析論文を供覧し検討する。

ファイバーポストを使用したレジン支台築造では、直接法あるいは間接法いずれもファイバーポストと築造窩洞の両者の前処理が必要である。ファイバーポストの前処理はいずれの製品もアルコール綿花で清拭後シラン含有プライマーの使用が指示されている。しかしながら、ファイバーポスト表面はレジン硬化体で被覆されているためシランの効果は期待できない。一方、形成した築造窩洞の根管象牙質の前処理はプライマーやボンディング材だけを使用することが多い。そこで、ファイバーポストと根管象牙質のレジンとの接着に関する最近の研究論文と、現在行っている研究を踏まえ、レジンと強固に接着するファイバーポストと根管象牙質の適切な前処理法を検討する。

トピックス

- ファイバーポストを使用した支台築造の予後
- ファイバーポストの前処理
- 築造窩洞の前処理

吉田 圭一先生



長崎大学病院歯科系診療部門保存・補綴歯科冠補綴治療室

略 歴

- 1986年 長崎大学歯学部 卒業
- 1990年 長崎大学大学院歯学研究科 修了
- 1990年 長崎大学歯学部附属病院第一補綴科 助手
- 1991年 長崎大学歯学部附属病院第一補綴科 講師
- 1991年 アメリカ合衆国ノースウェスタン大学歯学部生体材料学分野 客員教授
- 2000年 アメリカ合衆国オレゴンヘルス大学歯学部生体材料・生体工学分野 客員研究員
- 2014年 長崎大学病院歯科系診療部門保存・補綴歯科冠補綴治療室 講師

委員等

公益社団法人日本補綴歯科学会修練医・認定医・専門医認定委員会委員
一般社団法人日本接着歯学会 代議員

専門医等

日本補綴歯科学会補綴歯科専門医・指導医
日本接着歯学会接着歯科治療専門医・指導医

— 本誌を複写される方に —

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の引用・転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

一般社団法人 学術著作権協会

FAX：03-3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

ただし、アメリカ合衆国における複写については、次に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone：978-750-8400 Fax：978-646-8600

— 日補綴会誌への投稿方法 —

投稿希望の方は、下記の URL をご参照のうえ、

ご不明な点は学会事務局（電話：03-6722-6090）までお問合せください。

<http://www.hotetsu.com/t1.html>

日本補綴歯科学会 令和5年度第4回専門医研修会抄録集

令和5年11月26日発行

発行者 窪木拓男

編集 公益社団法人 日本補綴歯科学会

学会ホームページ /<http://www.hotetsu.com/>

〒105-0014 東京都港区芝2丁目29番11号

高浦ビル4階

公益社団法人 日本補綴歯科学会

電話 03(6722)6090
